



平成30年6月14日

## ガストーチバーナの火災が増えています！

～ 取扱方法をよく確認し、点検してから使いましょう ～

東京消防庁管内では、毎年ガストーチバーナ（以下、ガスバーナ）使用時の火災が発生していますが、本年は増加傾向にあります。手軽に使えるガスバーナは一般家庭にも普及してきており、夏になればバーベキューなどで使う機会も増えると予想されるため、取扱説明書を読み、注意して使用するよう呼びかけています。

### 【ガスバーナとは】

主にカセットボンベに接続して用いる、簡易的なガスバーナのことです（写真）。近年は一般家庭にも普及し、アウトドアバーベキューでの火起こしや、炙り料理、DIY等で使用されています。

正しく使えば便利な道具ですが、ガスバーナが発生させる炎の温度は1000℃以上に達することに加え、カセットボンベには燃料のガスが加圧・液化した状態で充填されています。そのため、異常燃焼やガス漏れ火災が起こると消火が難しく、怪我（火傷）をしたり、最悪の場合、爆発したりする危険性も潜んでいます。



### 【火災発生状況】

本年の火災状況は、死者は発生していませんが、負傷者が1人発生しています。昨年中は5件であったものが、本年は**5月31日現在で、既に9件発生**しています。



発生年	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)
発生件数	1	8	6	7	5	9
傷者数	0	1	1	2	5	1

### 【火災を防ぐために】

上記の火災事例、注意点、過去の火災状況は別紙、別表を参照してください。

※ 再現映像と写真を希望する社は、広報課報道係までご連絡ください。

問合せ先

（東京消防庁 代） 電話 3212-2111  
 予防部調査課 内線 5042 5048  
 広報課報道係 内線 2345～2350

## 【別紙資料】

### 1 事例紹介

#### 事例1 傾け（逆さ）使用によって発生した火災 ※再現映像・写真あり

構造・用途等 耐火造7階建 飲食店

焼損程度 建物ぼや

出火階・場所 3階 厨房

死傷者 なし

飲食店の厨房で発生した火災です。従業員の女性がデザートを調理するためにガスバーナを点火した直後、床に落ちた物を拾うためにしゃ



がんだ際、突然ガスバーナの炎が異常に広がりました。従業員は慌ててガスバーナを放り出し、他の従業員と協力して消火器で消し止めました。

点火直後のガスバーナを大きく傾けたために、カセットボンベ内部の液化ガスが液体のまま噴出し、異常燃焼につながったものと考えられます。

ガスバーナには傾け（逆さ）使用に予熱が必要なものがあり、この製品も取扱説明書に注意事項の記載がありました。しかし海外製の製品を通信販売で購入していたため英語のみの表記であり、従業員は目を通していませんでした。

#### 事例2 取り付け部から漏れたガスに引火した火災 ※再現映像・写真あり

構造・用途等 耐火造3階建 共同住宅

焼損程度 建物ぼや

出火階・場所 2階 台所

死傷者 傷者1人

これは共同住宅の1室の台所で発生した火災

です。居住者の女性が焼き菓子を作るためにガスバーナを使用していたところ、突然ガスバー



ナ本体が炎に包まれました。女性は火を消そうとしましたが、なかなか消えず、最後は風呂の浴槽に投げ込み、濡らしたバスマットを覆い被せて消火しました。この火事により、女性は熱傷を負いました。古いガスボンベを使用したために、取り付け部からガスが漏れたものと判明しました。

※ この事例の他にも、ネジの緩みや取り付け不良など、様々な要因によって漏れたガスに引火して火災になった事例が報告されています。

### 事例3 購入して間もないガスバーナの使用中に発生した火災

構造・用途等 耐火造3階建 共同住宅  
焼損程度 建物ぼや  
出火階・場所 3階 台所  
死傷者 なし

これは共同住宅の1室の台所で発生した火災です。居住者の女性が魚を炙るためにガスバーナを着火しようとしたところ、なかなか点火できず、ガスの臭いが漂い始めました。その後も点火操作を繰り返していたところ、突然バーナ本体から炎が上がりました。

女性は火のついたガスバーナをシンクに投げ込み、火災に気づいた同居人の男性が浴室のシャワーを使って消そうとしましたがなかなか火が消えず、粉末消火器を噴射して消し止めました。この時、ガスバーナは購入してまだ2回目の使用でした。

調査の結果、ガス量を調整するバルブの根本部分にガス漏れが生じており、そこから漏れ出したガスに引火したものと判明しました。

その他にも、

- (1) 消火方法が分からず間違えて火力を大きくしてしまい周囲の可燃物に着火した。
- (2) 消したと思って置いたところ火が消えておらず、周囲の可燃物に着火した。
- (3) ガスバーナ内部に虫が巣をつくり、異常燃焼が起こった。慌ててフライパンの中に入れたところ、熱がボンベに伝わって爆発した。

というような火災も発生しています。

これは火災により破裂し、大きく変形したボンベです。吹き飛んで物にぶつかった際に潰れた底部が、衝撃の強さを示しています。



## 2 火災を防ぐために

ガスバーナに関する火災の出火原因は様々ですが、いずれも使用前の確認やしっかりした事前準備があれば、防ぐことのできた火災が目立ちます。

火災から得られた再発防止のための教訓は次のようなものが挙げられます。

### (1) 取扱説明書を良く読みましょう

構造が簡単のため、直観的に使用できてしまいますが、製品によって性能や機能に違いがあります。点火方法だけでなく、消火方法も確認しましょう。傾け（逆さ）使用が問題ない製品もあります。**※映像あり**

また、一部の海外製品には、英語の取扱説明書しか添付されていないものもあり、注意が必要です。



### (2) 使用前後に点検しましょう

ネジの緩みや、取り付け時のガタツキ、金具の変形がある時は使用しないでください。特に、「ボンベを持つ手に冷気が当たる」、「タマネギの腐ったような臭いがする」、「栓が閉まっているのにシューシュー音がする」といった兆候は、危険なガス漏れのサインです。



速やかに器具を取り外し、風通しの良い場所に搬出してください。**※映像あり**

### (3) 極端な廉価品に注意しましょう

流通しているガスバーナの中には、インターネット通販等で極端な廉価で販売されている物もあります。そういった製品の中には、加工精度が低かったり、取扱説明書が不十分であったりするものがあり、火災発生のリスクが高くなります。

**※写真あり**

また、メーカー名が記載されておらず、何か事故が起きた際の連絡が困難なものもあります。



製品 A



製品 B（廉価品）

### 3 万一火災が起きた時は

消火方法として有効なのは消火器（粉末式のもの）です。消火器が無い場合は、水を張った容器に沈めることでも消火できます。※映像あり



ガスバーナを使う時は、あらかじめ水を張ったバケツや桶を用意しておくようにしましょう。ただし、水の量が少ないと消せないこともあります。

また、火災の熱がボンベに伝わるとボンベが破裂して爆発的に燃えることがあります。火を遮ろうとして鍋に入れたりボウル等を覆い被せたりすることは熱の伝導を早め、かえって危険です。※写真あり



### 4 ガスバーナ火災発生状況

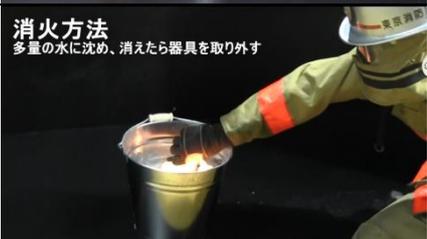
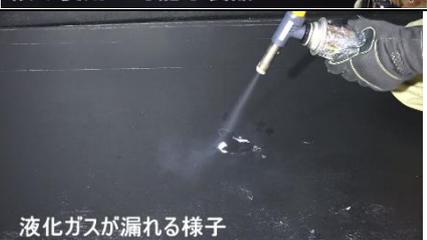
発生年	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)
発生件数	1	8	6	7	5	9
傷者数	0	1	1	2	5	1



平成30年は5月31日現在

※ この数値は、ガスバーナ使用中に発生した火災のうち、『ガス漏れが起因して出火した件数（逆さ使用等による異常燃焼からの出火を含む）』と、『操作方法を把握せずに使用して出火した件数』を当庁の統計データから抽出したものです。

【別表】

『ガストーチバーナの火災が増えています』 映像データリスト		
01	 <p>傾け使用による異常燃焼</p>	<p><b>傾け使用による異常燃焼</b></p> <p>傾け使用に予熱が必要な製品で発生する異常燃焼の様子を撮影したものです。ボンベ内の液化ガスが十分に気化できないために発生する現象です。</p> <p>(26 秒)</p>
02	 <p>逆さ使用による異常燃焼</p>	<p><b>逆さ使用による異常燃焼</b></p> <p>01 と同様の現象です。</p> <p>(18 秒)</p>
03	 <p>ガス漏れ火災 (再現映像)</p>	<p><b>ガス漏れ火災 (再現映像)</b></p> <p>取り付け部分でガス漏れが生じている状態で使用することで火災が発生する様子を再現したものです。</p> <p>※ガス漏れが発生する原因は様々あります。</p> <p>(15 秒)</p>
04	 <p>短時間で危険な状態になるガス漏れ</p>	<p><b>短時間で危険な状態になるガス漏れ</b></p> <p>ガス漏れが生じると短い時間で周囲に可燃性ガスが危険な濃度で滞留してしまう様子を撮影したものです。</p> <p>(31 秒)</p>
05	 <p>消火方法 多量の水に沈め、消えたら器具を取り外す</p>	<p><b>消火方法</b></p> <p>万一、異常燃焼や火災が発生した時に身近なものでできる消火方法を撮影したものです。</p> <p>※水の量が少ないと、漏れたガスが水面で燃え続けて消火できないことがあります。最も推奨される消火方法は、消火器を使うことです。</p> <p>(12 秒)</p>
06	 <p>傾け使用が可能な製品</p>	<p><b>傾け使用が可能な製品</b></p> <p>製品によっては、傾けたり逆さにしたりしても異常燃焼が起こらないように作られているものもあります。</p> <p>(27 秒)</p>
07	 <p>液化ガスが漏れる様子</p>	<p><b>液化ガスが漏れる様子</b></p> <p>異常燃焼の原因となる、気化していない液化ガスが噴出する様子を撮影したものです。</p> <p>(48 秒)</p>

※それぞれ、テロップの入っていないものもあります。